

著名作家らと一般ユーザーとで作り上げるオススメ本ガイド 『コロナの時代の読書』プロジェクト始動

**KADOKAWAが立ち上げる読書ガイド企画が6月1日スタート。
一般ユーザーからの応募レビューは「ダ・ヴィンチニュース」掲載も。**

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹）では、6月1日（月）よりウィズ・コロナ時代の読書ガイド企画「コロナの時代の読書～私たちは何を読むべきか？」をスタートいたします。作家や評論家の方々のオススメ本を文芸WEBマガジン「カドブン」(<https://kadobun.jp/>)に順次掲載し、ユーザーの方々のオススメ本及びレビューを投稿サイト「カクヨム」(<https://kakuyomu.jp/>)で募集いたします。

「コロナの時代の読書～私たちは何を読むべきか」特設サイト
https://kakuyomu.jp/special/entry/readingguide_2020



「神話の時代から人類は疫病とともにあった。ボッカチョの『デカメロン』は14世紀のペスト大流行が生んだ。トーマス・マンの『ヴェニスに死す』はコレラが忍び寄るヴェニスを描いた。ヘミングウェイやフィッツジェラルドはスペイン風邪の後に生まれた“失われた世代”だ。私たちは、これからウィズ・コロナ、ポスト・コロナを生きていかなければならない。先人たちがどのように生きたのか、文学にはその記憶が刻まれている。歴史の転換点だからこそ読みたい本、読むべき本をいま生きる読者と共有したい」

こうした思いからこのプロジェクトは企画されました。作家・評論家の方々にご寄稿いただくのはもちろん、ユーザーの皆さまが自由に投稿できる場を用意いたしました。これからの世界を生きるために携えるべき、本のガイドを作ればと思います。

参加予定の作家・評論家・著名人は、赤川次郎、有川ひろ、沖方丁、恩田陸、海堂尊、桐野夏生、窪美澄、汐見夏衛、篠田節子、ドリアン助川、夏井いつき、姫野カオルコ、深川麻衣、夢枕獏、の各氏です（著者五十音順・敬称略。順次掲載予定）。

■一般ユーザー向け（カクヨム企画）「みんなで作る読書ガイド」応募要項

◆タイトル

カクヨム自主企画「みんなで作る読書ガイド」
いつだって本は未来への道標。読書で考える新型コロナウイルスとの共存。

◆募集概要

カクヨムは、様々なWeb小説を無料で「書ける、読める、伝えられる」、KADOKAWA× はてなによる小説投稿サイトです。新型コロナウイルスと共存するこの時代に、ユーザーの皆さまおすすめの本の紹介レビューを募集いたします。

◆賞・賞品

特選レビュー（若干名）：

ダ・ヴィンチニュースにて掲載。BOOK☆WALKER GIFTコード 2,000円分。

参加賞（20名）： BOOK☆WALKER GIFTコード 500円分。

◆応募要項

- ・本企画には、自ら創作したオリジナルの紹介文のみ応募可能です。
- ・本の紹介は、お1人1冊とさせていただきます。シリーズ作品、上下巻作品、全集などは、まとめた紹介で問題ありません。
- ・本の紹介文は、400字以上2,000字以内で投稿してください。
- ・ノンフィクション、小説、コミックなど紹介する本の種類は問いませんが、現在電子書籍で購入可能な本が対象となります。
- ・メディアで紹介の際は、レビューを一部抜粋や修正させていただく場合がございます。
- ・紹介文の内容は、日本語で記述されたものに限らせていただきます。

◆選考方法

編集部が受賞作品を選出いたします。

◆スケジュール

応募受付期間： 2020年6月1日（月）～ 2020年6月30日（火）23:59

結果発表： 2020年7月中旬頃発表

詳しい応募要項につきましては、以下Webページにてご確認ください。

https://kakuyomu.jp/user_events/1177354054897948900

以上

【本件に関する報道関係からのお問合せ先】

株式会社KADOKAWA 広報部

E-mail pr-dept@kadokawa.jp

オフィシャルサイト <https://www.kadokawa.co.jp/>